

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(1)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	(A) 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0737.94	ko:ri <古..人は siya. 父とは言わない>	
0861.48	ko:ri <厚<た>>	
	siya <~ harm>	
0897.91	スカ <~ハッタ. 子>	コオリ
0990.97	siya <薄..もの> <siya hatta>	
	ko:ri <厚..もの> <ko:ri hatta>	
1719.38	コオリ <厚..時>	
1725.35	ko:ri <下にあるもの>	
1731.89	スカ <古>	コオリ
1744.60	スカ <コオリとはめつたに言わない>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は縦書きにする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (おろ)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1756.32	スカ <古>	こおり
1762.10	スカ <昔>	こおり
1773.27	こおり <スカという人もある>	
1791.33	スカ (多)	
2700.48	スカ <子>	
	こおり <大人>	
2720.75	スカ 薄.	
	こおり 厚.	
2722.67	こおり (厚)	スカ
2733.42	スカ 老幼は向いず	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

頁番号	地区番号	A 普通注記	ページ
126	26/	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3)
こおり (じく)			

地点番号	A 形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 残のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2750.43	スカ° <昔々今も使用>	
2763.89	siya <古>	korī
2795.72	siya <薄..> korī <厚..>	
2800.52	シガ <下> <目下に対して>	フオリ
3609.17	<新> korī	siya
3619.58	kōri (~ harū. 厚..) siya (~ harū. 薄..)	
3679.38	siya (薄..) kōri (厚..)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号欄に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

頁目番号 126	地図番号 261	A 通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	()

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3702.81	ko:ri < -寸以上の厚さのもの。この土地では天然氷で作った。その天然氷のこりたもの >	
3705.42	<古> siyā	ko ri
3711.92	siyā (~ haru)	
3711.98	siyama (~ haru)	
3712.15	<古> siyamā	ko ri
3713.75	siyama (~ haru)	
3714.74	* ko ri	siyā
3715.59	* ko:ri	siyā

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (2C)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3722.90	sīyama 厚薄にかかわらず	
3727.21	シカ° <厚い>	コオリ
3730.43	sīya <厚薄にかかわらず>	
3732.26	sīyama 薄い	kori
3733.73	sīyama (~ 薄)	
3740.29	sīya (~ harū)	
3742.82	sīya (~ harū)	
3750.43	sīya (薄)	
	kōri (厚)	
3752.47	sīya (~ harū) ①	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は紙密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 共通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	(6)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3752.89	sūya 厚みに関係なし。	
3757.32	2カ° (小エ<強>たもの)	
	コ-リ (大エ< ")	
3767.87	0カ° <薄い>	
	2カ° <少レ厚い>	
3770.96	sīya (~harū)	
3771.29	kōri (湖. 沼たこ)	sīya
3780.65	sīya 厚薄に関係なし。	
3783.57	2カ° (3)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(7)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3790.27	siya (~harma)	
3791.02	ko:ri ④ siya <古>	
3796.48	20° (薄..) 9→ペン (厚..)	
3797.32	9→ペン (古)	コ-y
4597.72	kayami <下川に木葉下米ねり>	ko:ri
4598.33	suyawa <古>	ko:ri
4609.54	ko:ri <今>	siya
4618.49	siya <古>	ko:ri
4618.87	siya (ii)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(8)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4619.63	ko:ru 〈今.普〉	
	siya 〈氷.今.氷〉	
4637.20	ko:ri 〈厚い〉	
	zae 〈薄い〉	
4637.68	ko:ri 〈厚い〉	
	zae 〈薄い〉	
4637.22	zae 又は非常に狭い。	
4637.43	* [zae] (は氷のko:riと答え. 氷は厚いから.) 屋根から下がるものだとしてこれを訂正し. dzaric 答えたように思ったか. →	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 通注記	ページ (9)
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	第三者の [zae] と薄氷と区別。 dzari は zai の訛かもしれない。	
4643.47	ZE: < つつは割れる程度の薄氷 >	
	ko:ri < つつでも凍、でも割れない程度の物 >	
4644.10	ko:ri r にわずかに摩擦がある。	
4648.42	zae (薄氷)	
	(厚氷は atsme zae)	
4648.59	zae < 古くは使われていたが、現在は稀 >	
4653.47	fimi < 古 >	
4653.84	ko:ri r は卷舌	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 26/	A 普通注記	ページ (10)
項目名 こおり (じく)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4654.52	[zai] 〈古〉 [jimi] 〈最多い〉 ((zai・jimiは調査者が「越後ではもと 外の方か」があるが、こちらには他に「あ せんか」と尋ねたところ、被調査者の息子と 郵便局長が「こお」と云い、被調査者も認めた もの。)	
	〈zai waru. 物事の先頭を引く意とい うと少年時代使った。〉〈zaiと云う語は 北海道の言葉と云われたもの下といわれている〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 共通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(//)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	〈加茂湖に zai hatta 氷がある。〉	
4657.64	zat 〈古〉 (氷たまりの水たまりの凍ったもの。)	ko:ri
	〈zai watari は旧の氷の凍った土を渡り歩くこと。昔々いうことでした。〉	
4657.88	zae 〈道の氷たまり等の氷を凍った薄氷〉	ko:ri
4663.49	fimi 厚薄に關係 tan. ko:ri は [新]. [小本町宿根木では fimi は薄. ko:ri は厚].	
4665.87	[zai 氷]	
4667.33	氷 (昔も今も使用)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密化する。

質問番号 126	地図番号 26/9	A 普通注記	ページ (12)
項目名 こおり (水)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4668.27	* zae	
4672.19	simi <古> <子> <昔多<用>。現在2音 子後: 対(2)はこおり多<用>... >	
4680.77	ze: (薄水) ko:rii (名詞)。(厚水)	
4685.10	[zae]	ko:rii
4686.02	ko:rii <厚水に關係なく> zae <古> r zae o watte tambo e haeru 等と昔言ふ。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

買回番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (13)
項目名 こおり (氷)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4687.01*	zae <古> はの tsumara <笑>と答江が訂正した。	ke:ri
4687.37	zae <古い言葉だが今も用いる>	ke:ri
4694.26	ke:ri <子供の時から使用> zae (「他に言う方はありませんか」と問に對して 答へ、若い時から多く使ひ、老人も使ひ。)	
4694.95	? zae: (この土地では厚い氷はみられぬ。 zae: は薄い氷である。)	
4695.19	ザエ ゴエの工 路は i に近い。	
4695.33	ke:ri (厚いもの)	zae

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 26/	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(4)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4695.87	[zae]	ko:ri
4702.10	sūya < ~ harū >	
4706.84	sūya < 薄いもの >	
	tappe < 厚く固いもの >	
	dææ < 波打る水の薄く、波形にたつこと >	
4711.41	[sūya]	
4712.16	siya < 古 >	
4713.02	<u>sūya</u>	
4716.72	tappe < 道路に張る氷 >	siya
4721.36	[sūya]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 26	A 普通注記	ページ
項目名 こり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(15)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 在のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4726.80	tappe 道路はるか東、2-puyulz-i-itō	siya
473/.42	[siya]	
473/.85	[siya]	
4736.63	siya <古>	ko:ri
4743.34	スカ 薄氷 コリ 厚氷	
4743.61	ko:ri < 29-ta:xiā tampe ha:st+ri &u3.>	
4760.64	[siya] [ko:ji] <上>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 共通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(16)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4760.97	sūrya in a 中舌化に軽微。	
4761.07	tappe 〈世〉	ko:ri
4762.04	ウスコヤ 〈霜柱をスガという〉	
4763.45	ko:ri (厚エに関係なく)	
4781.48	ko:ri 〈他に特別の名はない〉	
5472.31	クシミ 〈シミ→トルという〉	
5508.16	kazami (EにLとLとLとLとLとLという)	ko:ri
5508.43	kazami (板状氷)	ko:ri
5517.57	kazami (EにLとLとLとLとLとLとLとLという)	
5517.90	kazami 〈EにLにLとLとLとLとLとLとLとLという〉	ko:ri

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ 17
項目名 こおり (水)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5518.20	kayami 池の表面の水	ko:ri
5527.89	ko:ru 〔ko:i〕	
5528.31	kagari 〈古〉 (?)	ko:ri
5536.29	kayami 〈丸い時〉	ko:ri
5538.50	カネコロ 〈古〉	コオリ
5538.90	kamekoro 〈古〉	ko:ri
5557.42	kagam <u>u</u> → uと記す	
5579.42	kamekori 〈昔〉	ko:ri
5602.99	zar 〈老人〉	ko:ri
5613.35	〔〕 zar 妻の巻	ko:ri

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

頁番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ 48
126	26/		
項目名			
こおり (氷)			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5603.78	* zaja	
5604.28	koiri <氷の厚い氷>	
	zae <田・道・池などの薄氷>	
5604.52	zae zae ga haeru. (鏡のように氷面に張る)	
	zae ga haeru. (田などに残る薄氷張る)	
	simo ga haeru. (霜が柱状に出来る)	
5605.11	zai (薄氷の塊、又厚い氷の塊をさす)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ 19
項目名 こり (氷)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5605.70	ze: (薄氷) ko:ri (厚氷)	
5606.73	ze: 〈稀〉	ko:ri
5607.51	zee: 〈ko:riは共通語のほかに使われ〉	
5611.39	gan 〈古〉 〈小学生の頃道が氷がたりには 張った氷のこり云った。〉	ko:ri
5611.71	*ko:ri (南魚沼郡で「zee」と言えるが 云った所が、青海でも稀に「zei」と 云うのをよく見ることがあると云った。)	
5612.39	#ze (薄氷) こり (やや厚氷)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (20)
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5613.48	zaja 薄氷 ko:ri 人間の汗に凍りたもの	
5613.53	zaja (この地方は厚い氷は張らぬので zajaは薄氷。)	
5613.80	ko:ri 〈厚い〉 zae 〈薄い〉	
5615.65	zae 〈薄い〉 ko:ri 〈厚い〉	
5615.74	ze: 桶. 道路の水が凍りにくく氷が薄く 云々. この地方では厚い氷は張らぬ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (2/1)
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	(A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕)
5615.78	zæ: <厚い氷>	
5617.85	ku:ri <古>、<昔肉の下にこおりがあるが、使ったときは こおり>	ko:ri
5618.43	dzae <古>	ko:ri
5620.30	dza: <氷が溶けたとき、氷が溶けたとき>	
5621.43	gasa (道路の水たまりなどに張る薄氷) kamekko:ri (〜harutaと違って、2chis りの上を子供が歩ける程度の厚氷(…)) (→うらも[kamekko:ri]と云う)	
5622.48	ko:ri <老人、若く人が稀に zæ と云う>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (22)
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5623.27	kamekkoni 〈全体が氷になった〉 zaja 〈板〉	
5623.42	gasu 〈厚く薄く〉	
5625.32	ザエ 〈厚みに関係なく〉	
5625.91	ko:ri 〈厚い〉 zae 〈薄い〉 (「道路などの氷に引かれた氷の 氷になったのは何というか」に対する反応)	
5626.99	氷、こおり (129も同じ)	
5631.75	gasu 〈薄氷〉	ko:ri
5635.65	こおり (共)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ 63
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(23)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5641.07	gasu 〈薄氷〉	ko:ri
5644.74	こおり (共)	
5651.95	kinayo 〈木に花が咲いたようについたもの〉	ko:ri
5652.81	tsutara 〈道の上に張ったもの〉 ko:ri 〈池や田に張った水が凍った野〉	
5653.65	ko:ri 〈木に花のようにつく氷は mayo〉 (樹氷のこと)。	
5655.59	こおり (共)	
5663.64	ko:ri 〈薄層に肉緑な〉	
5674.74	こおり 〈〜がハツク〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 共通注記	ページ (20)
項目名 こり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	(A 注)のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5677.60	こり (〜カ°ハリ・ツキル)	こり
5678.37	こり (〜カ°ハル)	
5689.98	ko:ri	
5690.12	ko:ri <水面に糸をひいたように氷が張り始める ice ko:ri ya gabaru>	
5700.28	ko:ri <特別の名はない>	
5702.52	ko:ri <形・状態による特別の名はない>	
5703.68	tappe: [古]	tappe: ko:ri
5733.02	ko:ri <tappe:は流水・湧水たけが強いところ 張・氷>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は緊密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(25)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6396.92	こおり 〈うすこおり、アツこおり〉	
6414.25	ko:ri (根 ai が 落ち ko:ru と 聞える ことある。)	
6424.49	ko:ri 湯原町種 語 kaminakko:ri	
6426.04	ko:ri kameko:ri 〈ツララも道路の氷も全部含 めた言い方〉	
6426.47	kanako:ri 〈金のうりに堅い〉	
6455.31	ko:ri 〈12区 kogoruru だが kogori にはある〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (26)
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6455.88	カ=コオリ <古>	コオリ
6458.26	イテイル) 訂正 → コーリ ココイル)	48.1.10.同. A. 4a 48.1.15 回答
6458.91	コオリ <コオリ = テイル>	
6459.87	コオリ <~カハイル>	
6470.11	誘 ka:ŋko:ri <古>	ko:ri
6476.93	カ=コリ) 氷屋に食入るものとして売ってゐる。 カ=コオリ) カ=コリ コオリコリ。	コオリ
	氷屋は、カ=コオリ、カ=コオリと	
	いって、カ=コリの水を売ってゐる。こ. E.	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地区番号 261	(A) 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		〔B〕 除いた共通語	
		〔C〕 除いた特殊語	67

地点番号	(A) 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	(A) 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6477.02	コオル 126と127のカード記入並にはないか Hon.	
6479.95	NK 〔コオリ〕	
6484.43	カコオリ ~ カハツタ.	コオリ
6484.78	カコオリ ~ カハツトル.	
6485.30	カコオリ 〈古〉. 〈池に張った冬の氷を云い。昔は(被調査者の少年時代)冬の自然の氷は寒い地方から送って来たのを地下に埋めたりして置いて、夏掘り出して売った。今の古時 カコオリ カコオリ〉	コオリ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 26/	A 普通注記	ページ 28)
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	<p>売声とあげて売ったものだ。製氷かでは コオリと出た。></p>	
6486.93	カニコオリ <古>	コオリ
6491.49	ko:ri (海岸部の大浜部落では kanko:ri といふ。)	
6494.55	コオリ <氷全般> カニコオリ <池の水が凍ったもの。> カニコオリがハツ。> Kooriと認む。 Tok	
6497.93	kanko:ri 兎	ko:ri

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

頁番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ 89
126	261		
項目名			
こり (k)			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6511.85	ko:ji j = r が非常に弱く、r が半母音的摩擦に近しいの2つを示した。	
6512.02	iteyane <古>	
6523.50	gori <子供の時>	ko:ri
6523.86	kogori <老人の時>	ko:ri
6532.93	コリ kori の如く長音化し、koori とは 2 つは異なる。	
6545.64	kanakori <古>	ko:ri
6546.73	kanakori [此の場合]	ko:ri
6552.71	コリ (k)	コリ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(30)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6552.90	ko:ri (「コ-リ」)	
6553.47	ko:ri <老人> 「カンコ-リ」とは、昔、夏に売りに来た氷のこと。	
6553.83	3. ko:ri 〈「カコリ」ということばがあるが、これは 食用に可る氷のこと。昔はよく売りに来た。〉	ko:ri
6553.99	ko:ri (「ココリ」)	
6554.88	ko:ri <古>	ko:ri
6556.60	カ+コオリ <薄氷>	コオリ
6563.57	ko:ri <一世代前の人々のことば>	ko:ri

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ そのうちの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(3/1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6564.33	kogori <「カゴリ」とは、食用氷のことで、昔、売りに来た。>	
6565.90	kaneko:ri <古>	ko:ri
6572.04	kogori <古>	
6572.55	ko:ri ⊕ kogori	
6572.97	ko:ri <「カゴリ」といって、食用に作る。昔、売りに来たことがある。>	
6573.71	kogori <[kaykuri]というのは、寒の氷を貯蔵しておいて、夏売りに来たものをこりという。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (32)
項目名 こおり (ojc)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6574.52	kojori (「こおり」)	
6575.82	mizukori 〈新〉 kanakori 〈古〉	
6577.86	ko:ri 〈kanako:ri といふは、冷水。 おろしは冷〈たろこを意味〉	
6580.33	<u>シヤト</u> 〈薄い〉	こおり
6583.41	ko:ri	
6594.67	こおり 〈魚を長い氷汁で凍ったものはこおり〉	
6639.29	kamekko:ri 〈昔〉。(誤写)	ko:ri

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買回番号 126	地図番号 26	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (33)
項目名 こおり (氷)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6677.70	ta'ppi < ~ ga ko:ta > ta'ppi < ~ ga hatta >	
6731.03	kan/muri < 氷 >	ko:ri
7229.50	< 氷 > ku:ri	ko:ri
7239.21	< 氷 > ku:ri	ko:ri
7246.45	kor 船形. jukkagam 氷の上に張った氷	
7269.96	< 氷 > gangan	ko:ri
7301.67	tsa'mpo 穴の中に張った 一般的には ko:ri がある。	ko:ri (氷)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

買付番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (34)
項目名 こおり (水)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7321.46	ko:ri (~no haritta)	
7333.29	ku:ri <古>	ko:ri
7334.78	ku:rji <古>	ko:rji
7340.27	<古> ku:i	ko:i
7341.51	<古> ku:i	ko:i
7344.30	ku:rji <古>	ko:rji
7344.45	ko:ri	
7344.99	ku:ri <古>	ko:ri
7345.47	kaneko:rji <古>	
7352.61	こおり [~]m	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は箇条にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(35)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7354.23	シングル 〈古来使用〉	
7362.42	コオリ [ko・ɾi]	
7364.34	コオリ [〜ɾi]	
7366.87	Ku:ri 〈古. 稀〉	ko:ri
7370.16	Ku:ɾ (127と合形, 2-6)	
7370.41	クオリ 古.	コオリ
7373.56	* コリ ↓ コオン	
7373.92	コイル [ko・ɾu]	
7374.75	カガミ (稀)	コイル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 共通注記	ページ 56
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7377.27	kameko:ri < 茶巾の水をへたに凍らせた時のもの >	ko:ri
7377.72	kamekori < 古 >	ko:ri
7380.96	コイル [kon]	
7381.97	コニ [kon]	
7382.01	ko:ri	
7382.97	コオリ (~yi)	
7391.01	コオリ < 古からの言ひ方. 稀 >	
7392.94	コリ [ko:ri]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

頁番号	地図番号	A 普通注記	ページ
126	261	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(37)
こおり (氷)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7420.91	kanko:ri 〈池とが溝。田などにこまたもの のこり云々〉	ko:ri
7431.82	kori 〈氷〉	kanko:ri
7446.26	kayko:ri 〈古〉	ko:ri
7503.11	「カコリ」 〈寒に入って凍った氷を云々。 食用にするには肉類では無い〉	ko:ri
7503.48	〈古〉 kamekori	ko:ri
7504.64	*? kaneko:ri	ko:ri
7659.40	NR. そくいうとかない。	
8300.11	ゴウ 〈古〉	こおり

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は囲密にする。

買付番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こり (k)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(38)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8301.76	シモガネ <例. シモガネ / ハツ シモガネ / ハツ>	
8302.19	コリ <稀. 古>	コリ
8305.73	<古> kanakori	ko:ri
8310.87	simogane 参考 <動詞は simogane haru...>	
8315.46	kanekuri <昔. 子供の頃使用> ko:ri <現在>	
8324.26	simogane <古> <現在 使用 使用>	
8333.92	simogane [古]	ko:ri

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ そのうちの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (39)
項目名 こおり (氷)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8334.25	fimogame (音) fimogui (fimogua 末尾の倍化した形。これは「氷」のみならず、「霜柱」にも言うようた)	
8335.48	kanekuri <方言語。但し、この辺は冬は寒いので、めたに使うのだ>	
8341.94	fimogame <音> <昔はさかんに用いたか>	koiri
8345.24	fimoguri [「シモグリ」は老人語。若い人は「シモグリ」も使うが、「コオリ」の方が多し。]	[この辺りでは、冬はめたに水が張らない]

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は緊密にする。

買付番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (dc)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(40)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7355.23	ko:ri <多> simoguri <昔からの古い言葉、近頃は、 /ko:ri/の方をよく使う>	
8373.43	ko:ri (129 ツツ子の時は ko:i と云った。)	
0247.56	ko:rjuri <事実はないか>	
0256.08	ko:ri <実際、そういうことはないけど>	
0256.79	# ko:ri <実際上は、そういうことはない>	
0257.12	ko:ri <事実はない>	
0257.43	ko:r <事実はない>	
0265.96	ko:ri <生活圏内には現象はないか>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 其中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買附番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(4/1)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0275.36	ko:ri <強..2..えは>	
0275.97	/ <向いぬうたことかない>	
0276.50	/ <実物を更ない>	
0294.66	ko:ri <生活圏内に現象かないか>	
0294.93	/ 現象かないのぞ	
1167.01	NR. 氷はこおりない。	
1213.76	/ 氷	
1231.88	NR. 凍る現象かない。	
1251.27	NR. <ない>	
1271.20	/ 氷はない。その名もない。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		(B) 聞いた共通語)	
		(C) 聞いた特殊語)	(/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
1719.38	<ウズコリ> <薄いもの>	コリ <厚い時>
1725.35	fina <軒あま>	kôri <下にあるもの>
1791.33	コリ (少)	スカ (多)
2750.43	コリ <新>	スカ <昔も今も使用>
3785.68	コリ <新>	スカ
4638.22	ko:ri <新>	zaé ほぼ非常に狭い
4648.69	ko:ri <新>	zaé <古くから使われながら 現在は稀>
4653.47	ko:ri <新 共 子>	jimi <古>

- ▶ A・[B]・[C]などに別紙を使用する。
- ▶ そのうちの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 26	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (zai)		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4654.52	ko:ri (共)	[zai] 〈古〉 [simi] 〈最多〉 (zai・simiは調査者が「越後ではむと外の言い方かありませうか。こちらには外にありせんか」と尋ねたところ、被調査者の息子と郵便局長がこおり云。被調査者も認められた。) 〈zai waru 物事の先頭を行く意という語に 少年時代

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号 126	地点番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こり (氷)		B 除いた共通語	
		C 除いた特殊語	(3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
		使った。> <Zaiという語は北海道の言葉でねたもの下とわかれている。> <加茂湖にzai hattaとがある。>
4659.50	2-1 (共)	2-1
4665.87	ko:ri <新>	[Zai 稀]
4667.33	2利 (新)	ツイ (昔も今も使用)
4667.76	ko:ri <新>	Zae
4672.19	ko:ri <新> <現在多い>	simi <古>. <3> <昔も今も使用 現在子供に対しては多く用いる>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<()C>は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (新)		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(新)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4686.52	[ko:ri] <新> <共>	zae
4686.96	zae <厚エに関係なし>	
4712.16	ko:si <新>	siya <古>
4741.44	こーり [最近]	スカ
5506.68	ko:ri <新>	kayami
5579.79	<共> こーり	カネこーり
5597.78	<共> こーり	カネこーり
5603.88	ko:ri <共>	*zaja
5604.65	こーり (新・共)	ガエ
5614.62	ko:ri <共>	zaja

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号欄に記べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (氷)		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
5615.28	ko:ri (新)	ZE:
5621.43	ko:ri (共) (共通語的場面を用いる)	gasa (道路が水がたまり、 凍る薄氷)
		kanekko:ri (~harumitaと云ふ、2. 2歳 子供が歩くと歩くとする程度 の厚氷という。)
		(このも「kanekko:ri」 と云ふ)
5623.85	新 ko:ri (氷がたまり、 凍る)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は囲密にする。

買付番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (6)
項目名 こおり (氷)		B 除いた共通語	
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5631.75	usugasu <薄氷>	ko:ri gasu <薄氷>
5671.94	[sasa yo:ri] <氷の張り始めたもの。張り2日は。usu yo:ri>	ko:ri
5700.96	ko:ri <今使用>	tappe
6429.15	コオリ <共>	コオリ
6494.08	コオリ <新>	カニコオリ
6512.02	ko:ri <新>	iteyane <古>
6552.71	コッパコオリ (厚氷)	コオリ コッパコオリ (薄氷)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ (7)
項目名 こいり (2/1)		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6553.47	ko:ri <新>	koyori <老人> 「カコイリ」とは昔、夏に 売りに来た氷のこと。
6572.04	ko:ri <新>	koyori <古>
6620.49	ko:ri <共>	koyori
6686.75	ko:ri <新>	ta:ppi
7249.35	<新> コイリ コイリ 外 (凍ったものを)	クワイ
7258.82	ko:ri (ku:riは凍ったことかなという)	
7353.19	ko:ri <新>	siygu:ri

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

資料番号 126	地図番号 26 /	A 普通注記	ページ (8)
項目名 こおり (氷)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7391.01	こおり 〈新〉	7391 〈古からの言い方 稀〉
7396.16	ko:ri 〈新〉	kankori
7402.47	ko:ri 〈上〉	kankori
7430.15	上 ko:ri	kanko:ri
8302.91	こおり 〈新〉	シモガネ
8303.70	こおり 〈新〉	くり
8311.59	ko:ri 〈新〉	simogane
8313.72	ko:ri 〈稀 共〉	kanekui
8316.20	ko:ri (共)	kanekuri
8324.26	ko:ri 〈新〉 〈現在使用〉	simogane 〈現在使用〉

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 126	地図番号 261	A 普通注記	ページ
項目名 こおり (2<)		〔B 除いた共通語〕	(9)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8331.12	ko:ri <新>	simogane
8331.17	ko:ri <新.稀>	simogane
8334.63	ko:ri <共>	simogane
8335.48	ko:ri <共>	kanekuri <日常語. 但し、この山は冬も雪が おと、おたに使われる。>
8342.35	ko:ri <共>	simogane
8361.28	ko:ri <新>	simoyane